

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称 施策Ⅱ-2-3 高齢者福祉の推進

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長

高齢者福祉課長 杉原雅行

電話番号

0852-22-5236

事務事業の名称	地域包括ケア推進事業	
目的	(1) 対象	県民
	(2) 意図	可能な限り住み慣れた地域において継続して生活できるように、それぞれの地域で介護、医療、生活支援、住まいのサービスが一体的に提供される地域包括ケアが受けられるようになる。
事業概要	1. 訪問看護師の確保 2. 訪問看護拠点の充実 3. 市町村への技術的支援 4. 地域包括ケア推進事業の実施	

2. 成果参考指標

(1) 成果参考指標	指標名	従事訪問看護師数（常勤換算）	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			目標値		0.00	0.00	247.00	257.00	
式・定義	訪問看護ステーションに従事する訪問看護師（常勤換算）		実績値	0.00	0.00	270.70	288.90		
			達成率			109.60	112.50		%
指標名	地域ケア会議実施市町村数	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位	
		目標値		19.00	19.00	19.00	19.00		
式・定義	地域ケア会議を実施している市町村数	実績値	0.00	15.00	19.00	19.00			
		達成率		78.90	100.00	100.00		%	

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	20,890	37,860
うち一般財源(千円)	0	0

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

- 1について 訪問看護師確保対策事業により8人の訪問看護師が確保された
- 2について 12か所の訪問看護ステーションが事業を活用し、訪問車や機器の整備等を行った
- 3について 市町村が実施するケア会議に専門職を派遣しケア会議の充実を図った（3市町）
ケア会議の充実を目的に研修会を開催した（2回）
- 4について 3市町村が事業を活用し、地域包括システムの構築に向けた体制整備を行った（教育機関と連携した訪問リハの推進等）

6. 成果があったこと（改善されたこと）

- ・訪問看護の体制が整備された（訪問看護師の確保、訪問者や機器の整備等）
- ・ケア会議の持ち方について先進地の取組を学ぶことができた

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

- ・地域包括ケアシステムの構築に向けて、地域ごとの在宅医療・介護連携の取組を進める必要がある。
- ・訪問看護や地域ケア会議の充実について引き続き取り組んでいくと共に、新たな課題を整理し具体的な取組を進めていく必要がある。

②困っている状況が発生している「原因」

- ・地域包括ケアシステムの構築に向けて、地域ごとの取組べき課題の整理が不十分である

③原因を解消するための「課題」

- ・圏域ごとに課題を明確にする。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

- ・保健所を中心に課題の整理を行う。
- ・課題を基に市町村、圏域、県全体で果たす役割を整理し問題解決に向けて具体的に取り組む。

◎課（室）内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）